

令和7年度データ解析コンペティション日本計算機統計学会スタディグループで

2チームが快挙！！

～その1：明治大学とコラボ！チーム廃藩置県が最優秀賞を獲得！～

田中 爽楽（工学部4年次），森 海斗（理工学研究科2年次）

秋田 修（明治大学総合数理学部4年次）

奥野 拓也（NTTテクノクロス プリンシパルアーキテクト）

宮田 龍太（琉球大学工学部 准教授）

【概要】2026年2月21日に統計数理研究所で開催された表題の研究会で、本学工学部と明治大学の合同チームが最優秀賞を受賞しました。本研究会は、共通の実データ（マーケティング分野）を元に参加者が分析を競うもので、今年度は某書店グループの1年間分の書籍・雑誌販売データが提供されました。当該チームは、漫画の単行本売上に対して作品の映像化や商品コラボレーション企画など関連ニュースが与える影響を大規模言語モデル（LLM）で分析し、その結果を需要予測に統合する発注最適化手法を提案しました。その結果、従来手法と比較し約3.5%の経営改善効果が見込まれることを示し、高い社会的実装可能性が評価されました。

令和6年度データ解析コンペティション  
日本計算機統計学会データ解析スタディグループ (CS-DAS) 中間報告会

【学生部門 3】 14:45～15:45

19. T-wave2024NG 山本義郎 (東海大学)
20. T-wave2024 山本義郎 (東海大学)
21. UEC データ工房 2024 高橋里司 (電気通信大学大学院)
22. TeamRyukyu 宮田龍太 (琉球大学)
23. ADSL-R6 南 弘征 (北海道大学)
24. データミネルバ 後藤裕介 (芝浦工業大学)

【一般】 15:45 から 16:15

25. ドラムゲート 北島 良三 (東京工芸大学)
26. ダンケシェン 奥野 拓也 (NTT テクノクロス株式会社)
27. みかかかさ 山田俊哉 (NTT テクノクロス株式会社)

図1：2024年度のプログラム。昨年度はライバル関係にあった2チームが、今年度は  
タッグを組んだ。

**件名:** 令和7年度データ解析コンペティションの参加について (明治大学：  
秋田修)

宮田先生

お久しぶりです。

6月の計算機統計学会では大変お世話になりました。

明治大学 総合数理学部 ネットワークデザイン学科4年の秋田修です。

8月8日に令和7年度データ解析コンペティションの発会式がありました。  
今年も奥野先生と私でチームとしての参加を検討しております。

そこで、宮田先生の琉球大学チームと合同で参加させていただければと  
考えております。

合同チームとして研究を進めることで、お互いの視点を広げ、より充実  
した成果が得られるのではないかと考えております。

もし宮田先生のチーム内で参加を検討されている方がいらっしゃいましたら、  
ぜひご一緒にご検討いただければ幸いです。

どうぞよろしくお願いたします。

図2：秋田さんからいただいたチーム編成に関するお誘いのメール。これをきっかけに

「チーム廃藩置県（明治×琉球がネーミングの由来）」が結成された。

表 1：令和 7 年度データ解析コンペティションとチーム廃藩置県のスケジュールの概要。

日にち	イベント
08 月 08 日	発会式
08 月 15 日	秋田さんから上記メールを受信
08 月 25 日	チームエントリー締め切
09 月 01 日	申請書・誓約書の提出
09 月 17 日	提供データの貸与
10～12 月	チーム廃藩置県：オンライン会議（隔週）
12 月 20 日	中間報告会@統計数理研究所
01～02 月	チーム廃藩置県：オンライン会議（毎週）
02 月 21 日	最終報告会@統計数理研究所
02 月～03 月	チーム廃藩置県：オンライン会議（毎週）
03 月 19 日	成果報告会@中央大学



図3：最終報告会で使用したスライドの最初のページ。書店の経営効率化を図る方策の一つとして機械学習による精密な週間需要予測を行い、経営を圧迫する本の返品率をどの程度改善できるか試算した。文脈理解を得意とする LLM を活用し、関連ニュースが作品の売上に及ぼす影響を考慮した需要予測を実装した。



図4：副賞の盾を手にした受賞メンバーによる最終報告会での記念撮影（画面左手前から半時計周りの順で，森くん，秋田さん，田中くん，奥野先生，宮田准教授）。



図5：副賞の盾。

## 令和7年度データ解析コンペティション

### 日本計算機統計学会データ解析スタディグループ (CS-DAS) 最終報告会 審査結果

#### 最優秀賞

- 17. Team KASUMI2025 藤野友和 (福岡女子大学)
- 21. UEC データ工房 2025 高橋里司 (電気通信大学)
- 23. ブラックキッズ+ 白井康之 (大東文化大学)
- 30. チーム廃藩置県 宮田龍 (琉球大学)
- 31. TeamRyukyu 山田健太 (琉球大学)

#### 優秀賞

- 10. ADSL-R7 南弘征 (北海道大学)
- 26. NaN しか勝たん 後藤裕介 (芝浦工業大学)
- 28. jasp 山本由和 (徳島文理大学)

#### 奨励賞

- 2. 竹取物語 大竹恒平 (上智大学)
- 18. Honey Bunnies 竹内光悦 (実践女子大学)

図6：最終報告会の審査結果。合計31チームがエントリーし、うち5チームに最優秀賞が

贈呈された。